

日 薬 定 例 記 者 会 見 要 旨

日 時：令和7年4月10日（木）11：00～11：30

場 所：日本薬剤師会 第一会議室

出席者：岩月会長、原口副会長、上野専務理事

内容・提出資料：

1. ミャンマー大地震義援金募集について（令和7年4月2日 日薬発第10号）

岩月会長より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

3月28日にミャンマーで発生した大地震により、被災地が甚大な被害を受けていることに鑑み、役員会にて義援金の募集について決定し、都道府県薬剤師会を通じ会員に周知、本会ホームページでも案内を開始した。ミャンマー薬剤師会は存在するが、今後、寄せられた義援金をどこへ提供するかは確認を進めているところである。4月8日現在、ミャンマー政府未承認の支援活動は認められていない状況から、アジア薬剤師会連合（FAPA）が活動を断念したとの情報も入ってきている。

2. 厚生労働省「薬局・薬剤師の機能強化等に関する検討会」の「これまでの議論のまとめ（在宅医療における薬剤提供のあり方について）」の公表について（令和7年4月2日 日薬業発第2号）

岩月会長より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

本年3月31日、厚労省「薬局・薬剤師の機能強化等に関する検討会」において、在宅医療における薬剤提供のあり方に係る、これまでの議論のまとめが公表された。

とりまとめでは、在宅医療における薬剤提供体制の構築・強化に時間を要することや、過疎化の進展に伴い広域での体制構築が必要になることも想定されることから、体制が構築・強化されるまでの臨時的な対応として、訪問看護ステーションに一定の医薬品を配置し、医師の診療と指示の下、訪問看護師が処置・投薬で対応するものとして、輸液（体液維持剤）を対象として検討することも示された。この「臨時的な対応」が必要な状態に至ることがないよう、各地域における医薬品提供体制の構築・強化により一層取り組む必要がある。「地域医薬品提供体制強化のためのアクションリスト（仮称）」を策定中であり、早期に都道府県薬剤師会を通じ、地域薬剤師会、会員に示す予定。これらのことについて、都道府県薬剤師会を通じて会員に周知したところである。

3. 緊急避妊薬販売に係る調査事業の継続実施について（協力依頼）（令和7年4月7日 日薬業発第13号）

岩月会長より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

今年度も引き続き、本会が調査事業を受託し実施することとなった。令和5年11月から実施し、薬局での試行的販売の状況等について様々な角度からのデータが取得できており、研究協力薬局並びに協力関係機関各位のご尽力に深く感謝申し上げる。

厚労省では、薬局での試行的販売を継続して引き続きデータ収集を行うとともに、調査研究により収集されたデータを分析して、薬局における緊急避妊薬の適正で持続可能な販売方法及び販売時に留意すべき点について検討するとともに、実際の販売を通じて、スイッチ OTC

化した場合の販売方法についてさらに検討を行い、その最適化を図ることを目的とし、令和7年度事業を実施するとしている。

4-1. 日本薬剤師会公式キャラクター「ふあるみん」47都道府県ご当地デザイン誕生のお知らせ

4-2. 日本薬剤師会公式キャラクター「ふあるみん」LINEスタンプ配信開始のお知らせ

原口副会長より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

昨年の日薬学術大会（埼玉）でお披露目した、本会の公式キャラクター「ふあるみん」のご当地デザインを公表した。各デザインのテーマは、都道府県薬剤師会から募集し決定した。本年、京都で開催予定の学術大会の案内では、既に「舞妓」バージョンが活用されている。都道府県薬剤師会、地域薬剤師会において様々なシーンで活用され、地域住民から愛されるキャラクターとなることを願っている。

また、「ふあるみん」のLINEスタンプの配信も開始した。販売価格は1セット・24個で120円。第1弾「日常編」として、「ありがとうございます」「OK」など使用場面の多いスタンプを作成した。今後、反響に応じて第二弾、第三弾のリリースを予定している。

5. 令和7年度日本薬剤師会 会議予定表（令和7年4月8日現在）

原口副会長より、記者の皆様に関係する会議として、都道府県会長協議会の日程、開催地などご留意いただきたいと説明された。

主な質疑応答は以下のとおり。

〈地域医薬品提供体制強化のためのアクションリスト（仮称）について〉

記者：地域医薬品提供体制の構築に向け、日薬から示す準備を進めているアクションリストは、どのような内容で、誰に向けて（対象）、いつ頃出される予定か。

上野専務理事：内容のイメージとしては、薬局・薬剤師の機能強化等に関する検討会に本会が提出した資料であり、地域医薬品提供体制の構築に向けて、薬局や地域薬剤師会それぞれがやるべきことをできるだけ具体的に整理、準備しているところである。公表にはもう少し時間を要する。あくまで参考にしていただく位置づけであり、各地域の状況に応じて行政や関係団体とも連携しながら実践いただきたい。

〈緊急避妊薬販売に係る調査事業について〉

記者：これまでの事業内容と変更になる点はあるか。

岩月会長：継続事業であり変更点はないが、服用後の妊娠の判定のための再受診率が低いとの指摘があるため、各薬局での対応を引き続き徹底していく。

次回の定例記者会見は、令和7年4月24日（木）11：00～を予定。